

昭和五十年八月招集

第五回館山市議會臨時會會議錄第一号

館山市議會

目次

日時	一
場所	一
出席議員	一
欠席議員	一
出席説明員	一
出席事務局職員	一
議事日程	二
開會	二
議長の報告	二
議案の配付	二
會議録署名議員の指名	二
会期の決定	二
提案理由の説明	三
議案第五十五号ノ議案第五十八号	三
請願第一号、請願第二号	四
休會	二
延會	二
本日の會議に付した事件	三

(内容説明)

一、昭和五十年八月二十六日(火曜日)午前十時

二、館山市役所議場

三、出席議員 二十八名

一、出席説明員	二名	六番	鈴木正義
市役所長	半沢良一	助役	島山伝
収入役	高木哲三	秘書課長	斉藤武男
庶務課長	綱島憲治	財政課長	長谷川広治
建築課長	内藤重雄	水道課長	大嶋重義
教育長	安田豊作	教育委員会	汐崎政光
庶務課長		庶務課長	
一、欠席議員	二名	三番	望月照正
二番	遠山ヨネ子	二番	石井正
三番	伊賀多朗	二番	藤田益治
四番	菊井敏博	二番	西村真次
五番	田中禄郎	二番	五十嵐昇
六番	渡辺昭夫	二番	和田一郎
七番	石井武敏	一、八番	渡辺軍治郎
八番	辻田実	一、六番	安西益男
九番	近藤好雄	一、四番	石井輝久
一、一、二番	鈴木稔	一、〇番	栗原一雄
二、四番	押元稔	二、八番	松下正己
三、七番	本間昭二	三、五番	黒川平治
四、九番	吉田勇治郎	四、二番	伊藤幸太郎

一、出席事務局職員

事務局長 高 尾 豊
書記 兵 藤 恭 一
書記 安 西 良 一
書記 福 田 英 雄
事務局長補佐 石 井 敏 夫
書記 記 鈴 木 哲
書記 記 川 上 義 雄

一、議事日程（第一号）
昭和五十年八月二十六日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名
日程第二 会期の決定

議案第五十五号 成田市を千葉縣市町村公平委員会の共同設置団体に加えること及び千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

議案第五十六号 工事請負契約の締結について

議案第五十七号 工事請負契約の締結について

議案第五十八号 館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

請願第一号 水道料金値上げをやめさせ給水状態を改善させるための請願書

請願第二号 水道料金値上げをやめさせ給水状態を改善させるための請願書

和五十年第五回市議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長 の 報 告

○議長（吉田勇治郎君） 本臨時会議案審議のため、地方自治法第百二十一条の規定による出席要求に対し、お手もとに配付のとおり出席報告がございましたので御了承願います。

議 案 の 配 付

○議長（吉田勇治郎君） 議案を配付いたさせていただきます。議案の配付漏れはございませんか。――配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手もとに配付の日程表により行ないます。

会議録署名議員の指名

○議長（吉田勇治郎君） 日程第一、会議録署名議員の指名を行ないます。

七番議員本間昭二君、二四番議員西村真次君、以上両君を指名いたします。

会 期 の 決 定

○議長（吉田勇治郎君） 日程第二、会期の決定を行ないます。

本臨時会の会期につき、議会運営協議会の意見は、本八月二十六日から八月二十九日までの四日間ということとあります。

おはかりいたします。

○議長（吉田勇治郎君） 本日の出席議員数二十七名、これより昭

会期を四日間と決しますことに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって、会期は八月二十六日から八月二十九日までの四日間と決定いたしました。

提案理由の説明

○議長（吉田勇治郎君） この算、本臨時会招集につき、市長のあいさつ並びに提案理由の説明を求めます。

（市長半沢良一君登壇）

○市長（半沢良一君） 昭和五十年第五回市議会臨時会開催にあたり、ごあいさつ並びに提案理由の説明を申し上げます。

本日は、残暑きびしいおり、急遽第五回市議会臨時会を招集いたしましたことに恐縮に存する次第でございます。

本日、付議いたします案件は、公平委員会にかかわる共同設置規約の協議一件、契約の締結二件、条例改正案一件の計四件でございます。以下、概要につきまして御説明いたします。

まず、議案第五十五号についてでございますが、本市の公平委員会につきましては、本年四月から県内市町村で共同設置しております千葉縣市町村公平委員会に加入しているところでございますが、このたび成田市がこれに加入したい旨の申し出がございますので、共同設置団体に加えること、及びこれに伴う規約の変更について関係市町村が協議するものでございます。

次に、議案第五十六号及び第五十七号工事請負契約の締結についてでございますが、防音改築工事請負につきましては、第二中学校が指名競争入札の結果、一億三千三百三十万円で株式会社石

井工務店が落札いたしましたので同社と、また、第一中学校につきましては指名競争入札を実施しましたところ、落札者がなかったため、最低の価額で入札した株式会社計工務店と一億八千五百二十万円をもって随意契約をそれぞれ締結しようとするものでございます。

次に、議案第五十八号館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、水道企業会計につきましては昨年度の決算において四千七百八十三万円の欠損を生じ、さらにこのままの料金で推移いたしますと、本年度末において一億七千万円程度の累積赤字が予想され、今後赤字の額については年々増加していく傾向にあります。

この赤字のおもな原因につきましては、水道料金が開設以来長年にわたり据え置かれていた反面、最近における電気料をはじめとする諸物価の高騰、人件費の上昇、企業債利子の増高、三芳水道企業団からの受水単価の値上げ等のコスト上昇により、給水原価と料金単価との不均衡にあり、赤字財政を立て直すには経営合理化に努力をほらうことはもちろんでございますが、公共福祉の立場に立ちつつ、公営企業原則である原価主義と独立採算に基づき適正な料金に改定することが必要でございます。

今回、これらの事情から水道料金、加入者分担金等について改定し、水道事業の健全な運営と、水道会計の立て直しをはかりたい所存でございます。

以上、今回提案いたしました議案の説明を終わりますが、詳細につきましては関係課長等より説明いたしますので、よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

○議長（吉田勇治郎君）以上で、市長のあいさつ並びに提案理由の説明を終ります。

議案の上程

○議長（吉田勇治郎君）日程第三、議案第五十五号乃至第五十八号、請願第一号及び第二号を一括して議題といたします。

議案の内容説明

○議長（吉田勇治郎君）おはかりいたします。

ただいま議題となりました各案件は、本日はこれが内容説明のみといたします。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君）御異議なしと認めます。よって、決しました。

この際、おはかりいたします。

ただいま議題となりました各案件は朗読を省略して直ちにこれが内容説明を求めたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君）御異議なしと認めます。よって、決しました。

これより順次説明を求めます。

議案第五十五号

成田市を千葉縣市町村公平委員会の共同設置
団体に加えること及び千葉縣市町村公平委員
会共同設置規約の一部を改正する規約の制定
に関する協議について

（庶務課長綱島憲治君登壇）
○庶務課長（綱島憲治君）議案第五十五号につきまして御説明申し上げます。

今回、成田市が共同設置しております千葉縣市町村公平委員会に加入したいということで御協議をお願いすることですが、これは現在千葉県内の十七市、一部事務組合五十九、町村五十四で形成をされております委員会でございます。そこに今回成田市が加入をしたいということで、地方自治法二百五十二条の七第二項の規定により御協議をわずらわしいと思うわけでございます。

規約の改正でございますけれども、これは成田市の加入を、別表に加入団体が書いてあるわけでございますが、そこに成田市を加えるということでございます。

それで、この規約は、関係団体の協議の整った日から施行をするということでございます。

議案第五十六号 工事請負契約の締結について

○庶務課長（綱島憲治君）それから、次に議案第五十六号工事請負契約の締結についてを御説明申し上げます。

先ほど、市長のほうから説明のありましたとおり、館山市立第二中学校防音改築工事第三期の工事でございますが、去る十九日市内業者三社、県内大手一社、県外大手九社、以上十三社の指名をいたしました競争入札で決定をいたしましたわけでございますが、最低価格で石井工務店が一億三千三百三十万円で落札をいたしましたので、これと契約をしよう、こういうことでございます。内容といたしましては、三千二百七十七平米の躯体工事でございます。

ます。教室といたしますと、特別教室十一、普通教室六、職員室
応接室、事務室等でございます。

以上でございます。

議案第五十七号 工事請負契約の締結について

〇庶務課長（網島憲治君） 続きまして、議案第五十七号につきま
して御説明申し上げます。

これは、第一中学校の防音改築工事第二期でございます。去る
二十二日に先ほどと同じ業者を指定いたしまして入札をした結果
三回入札をいたしました花落れいたしませんで、最低価格の計工
務店と話し合いの結果、一億八千五百二十万円で請負契約を結び
たい。こういうことでございます。

内容といたしますと、二千八百五十八平米の内装工事ござい
ます。特別教室八、普通教室十これが中身でございます。

以上でございます。

議案第五十八号 館山市水道事業給水条例の一部を改正する条

例の制定について

（水道課長大嶋重義君登壇）

〇水道課長（大嶋重義君） 議案第五十八号につきまして御説明申
し上げます。

本案は、先ほど市長から提案理由の説明がありましたとおり、
水道事業の財政がきわめて窮迫しておりますので、財政の立て直
しと事業経営の合理化をはかる目的で料金等の改正のため、条例
の一部を改正しようとするものでございます。

今回、改正のおもな内容でございますが、大別いたしますと、

第一点は、水道の用途別として一般用と営業用に分けていた規定

を削除することでございます。

第二点は、水道料金を全面的に改めるといふことでございます。

第三点は、メーター使用料の一部を改正するものでございます。

第四点は、手数料として開栓手数料を新たに設けるものでござ
います。

第五点は、加入者分担金について全面的にこれを改めようとす
るものでございます。

以上の五点がおもな内容でございます。

次に、各改正条文について御説明いたします。

第五条を削除することでございます。この条項は専用給
水装置の用途別について規定したもので、第五条では専用給水装
置の給水用途別は一般用と営業用に分けてありますが、営業用の区
別は、今回従量料金制を採用したことによりまして、区分する必
要がなくなりましたので、この条文を削除しようとするものでご
ざいます。

次に、第二十二條第二号と第二十七條第二項の条文のなかから
「料率」という字句を削る関係でございますが、第二十二條は水
道の使用者等からの届出の義務について、また第二十七條では使
用水量の計算についてそれぞれ規定したものでございます。これ
らの条文中に「料率の異なる用途」とか、「料率の異なる二種以
上の用途」云々と使用されておりますが、今回の料金改正で営業
用という用途区分を廃止、かつまた基本料金及び超過料金の料率
をなくしますので、不要となる料率という字句を条文から削除し
ようとするものでございます。

次に、第二十五條の料金関係、それから次のページに第三十三

条、これは開栓手数料の関係ですがこれと、一番終りのページの第三十三条の二の分担金の関係の改正につきましては、ここに掲げてあります表や条項のように改正しようとするものでございますが、これらにつきましては、内容が関連しており複雑でございますので、このあとで資料によりまして一括して御説明いたしたいと思います。

次に、第二十九条の関係でございますが、本条は料金算定の特例について規定したものでございます。つまり、水道を月の中途で使用を開始または中止したときの料金算定は、その日数が十五日未満のときは、現行では基本水量の二分の一までは、基本料金の二分の一、たとえば、十トンについて三百円の基本料金で十五日未満の使用量が三トンの場合は、基本料金は二分の一の百五十円になる計算でございます。そうしてさらに、二分の一以上の超過水量があれば、超過料金としてこれに加えることになっております。

これを、今回の改正では基本水量と超過料金の規定がなくなりますので、改正の基本料金二百四十円の二分の一の百二十円と、実際の給水量に対する従量料金を加えた額にするという計算方法にかわるわけでございます。

次に、附則の適用時期でございますが、改正の水道料金、メーター使用料及び水道の使用が十五日未満の料金算定の関係につきましては、本年九月検針終了以後から、また開栓手数料、分担金等につきましては本年十月一日からそれぞれ適用をしようとするものでございます。

それでは、先ほど申し上げました料金、メーター使用料、分担

金等につきまして、資料により御説明いたしますので、お手もと資料をごらんいただきたいと思えます。

それでは、今回の水道料金の改正計画をいたしましたんですが、その基本方針につきまして最初に御説明いたします。

今度の基本方針の中では約三点のものを柱にいたしておるわけでございます。その一つといたしまして、今回のこの料金改定でも累積赤字は解消になりません。それで、この累積赤字の全面的な解消のための財政健全化計画は、現在行なっております第一次の拡張事業の完了時点でこれを検討し、案を立てまして実施していきたいと、こう考えております。したがって、今回の改定は財政の健全化目標に近づけるというための暫定措置であるということでございます。

それから、第二点でございますが、料金改定は先ほども申し上げましたんですが、昭和五十年九月検針終了時以後といえますという、水道料金の納付書では十月分、十一月分ということになります。この分から実施するというところでございます。

それからあと、料金体系の関係でございますが、これにはおもなものを五つばかり織り込んで改定しようとするものでございます。

その一つは、現在市の水道料金の体系は三種類に分れております。この料金体系は、格差是正という関係からこれを一本化していくというのが一点でございます。

それから、料金区分でございますが、現在基本料金と超過料金とに相なっておりますが、これを基本料金及び従量料金の二本立てにしていきたいと考えてございます。

それから三つ目には、一般家庭用等のごく低い量を使う使用の料金につきましては、その使用実態に即応してなるべく上げ幅をおさえてこれを低額にしていこうとございます。

それから、従量料金につきましては水需要を抑制していくというのを強化していくために、水量区分を細分化しまして、使用水量の増大に従い料金単価の上げ幅を拡大させるということとでございます。

それから五つ目には、現行料金表で用途区分されている営業用を廃して一般用に一本化したということが五つ目でございます。

以上が、今回の基本方針でございます。

次に、改正する料金等につきまして御説明申し上げます。この資料の一の欄をごらんいただきたいと思っております。左側に現在の現行の水道料金、それからメーター料金、加入者分担金が揭示してございます。それから右のページには、今回改正しようとする水道料金、メーター料金、加入者負担金、それから手数料の一部が揭示してございます。

先ほど申し上げましたように、今回の料金改定でございますが大きく分けまして用途別は一般用と官公署、学校、公衆浴場用、臨時用これは計量制に属するものでございます。それから一部にある定額制のもの。このような分類にするわけでございます。

それで、基本料金でございますが、現行では一定の基本水量を織り込んで基本料金を出してあるわけでございます。左側をごらんになればわかりますように、たとえば、宮城水道の場合には基本水量十トンについて二百円、西岬、南部、西部につきましては十トンについて三百円、中央水道につきましては十トンについて

三百七十円このようになっております。

これを、今回の改正におきましては、かまわず使用水量のメーターにかかわらず一カ月につきまして均等の二百四十円にしようとするものでございます。

それから、従量料金でございますが、今回のこの制度ははじめのものとございます。この立て方は段階別通増制ということになります。現行のものにつきましては、基本料金の基本水量を越えたものはストレートに超過料金として加算するというところでございまして、しかも、その加算する金額は一トンについて二十五円とか、一トンについて四十円とか、単一の単価につきましてこれに超過するトン数を掛けていくという単純な計算方法でございます。

これを、改定案につきましては、段階別の通増制でございまして、一トンから八トンまでの使用者分におきましては一トンについて四十円の計算だということとでございます。ですから、八トンまでの人は一トンしか使わなければ一月に四十円ということになります。これが一つの例に中央水道を例にとりますというと、現在一トン使っても十トン使っても同じ三百七十円という、こういうことになるわけでございます。ですから、この八トンまではそれぞれ使った実量に応じまして一トンについて四十円だということとでございます。ですから、二トンの場合は従量料金は八十円でございますので、基本料金が二百四十円ですから、三百二十円ということとでございます。

ですから、今の中央水道の場合は使わなくても三百七十円ですから、この四、五トンぐらまでのところはどちらかといえます

と、値上げとは逆の形になる結果が出るわけでございます。それといいますが、現在の館山市の水事情がたいへん御迷惑かけているということ、非常に井戸を併用している家庭が多いということ等の関係から、少量の需要が非常に多いということでこのような通増制を敷いたわけでございまして、ですから、水を節約したところには低料金で料金をいただく。このような考え方でございます。

それから、九トンから二十トンまでのものは一トンについて九十円ということでございます。以下、二十一トンから四十トンまでのものは一トンについて百五十円、それから四十一トンから六十トンまでのものは一トンについて百五十円、六十一トンから九十のものは一トンについて百二十五円、このような段階別の料金になるわけでございます。

それで、市の給水状況をみますというところ、この八トンぐらいまでのものが約二千六百件余りございます。そうしたことで、この区切りの一トンについて四十円から、次に九十円は非常に倍以上になる計算になりますが、実際していきまస్తుというところ、それではこれが八トンの人は従量料金が三百二十円の基本料金が二百四十円ですから、一月五百六十円でございまして、九トンのものは、これを一トンを超えるものは九十円ですから、五百六十円に九十円を足した六百五十円ということでございます。ですから、この差は一トンについて四十円、九十円という感じからすると二倍以上になります。実際の計算は、これは通増制でございますので、一たん基礎を出したものに、それを積み重ねて出していく。こういう計算方法でございますので、そのように御了承いただきたいと思います。

思います。

それからあと、官公署、学校等につきましては、これは基本料金を二百四十円にいたしまして、こうした特殊性を考えまして一トンから二十トンまでのものは一トンについて四十円、それから二十一トン以上につきましては一トンについて九十円を加算していく。こういうことに相なります。

それから、公衆浴場用につきましては、基本料金が二百四十円に、料金は一トンについて六十円、ただこの公衆浴場は現在市内に四件でございますが、使用量が非常に低いということでございます。

それから、臨時用でございますが、これは臨時的に家を建てるために飯場に委節的に使用するとか、あるいは茶店を出すとか臨時のものでございます。これにつきましては特殊なものでございますし、その件数はございませんので、これは二百四十円に従量料金は一トンについて百二十五円ということでございます。

それから、一部に定額制のものがあるわけでございます。中央水道の中と、それから官城水道の中に一部でございますが、今こうした制度が残っておりますので、このものにつきましては一世帯五人が七百四十円、それから家族が一人増すごとに九十円、それから蛇口を支栓をふやす場合には一個について六十円になる。こういうことでございます。

以上が、料金改定の内容でございます。

それから、水道料金に付随いたしまして、メーター使用料をいただくわけでございますが、このメーター使用料の関係でございますが、これにつきましては現行のものは、中央水道が現在十三

ミリについて五十円、二十五ミリまでが百円、四十ミリまでが二百五十円、五十ミリまでが七百五十円、百ミリ以下が千円こうなっております。他の宮城、西岬、それから簡易水道等につきましてはこれを下回っておるわけでございますが、これにつきましては、この中央水道のメーター使用料に引き上げていくということとでございます。これは中央水道管内につきましては据え置きのままということでございますので、それ以外の一部の加入者の方がこのような値上りになるわけでございます。

それからあと、加入者分担金でございますが、これは水道に新規に加入する場合には、新規に給水申し込み書を取って検討いたしまして許可をするわけでございますが、この場合に、新規の申し込み者から徴収する分担金でございます。これは新規需要者の負担の公平をはかるという見地からこれを徴収しまして、水道事業の必要財源の一部に充てていくということでございます。

現行では左の欄に掲示してございますものを、今回十三ミリにつきましては四万五千円、二十ミリにつきましては七万五千円、二十五ミリにつきましては十二万円、三十ミリにつきましては十八万円、四十ミリにつきましては三十三万円、五十ミリにつきましては五十二万五千円ということでございます。今申し上げましたミリというのはメーターの口径の大きさをさすものでございます。

それからいま一つ、手数料の一部改正でございます。これは開栓手数料を七百五十円いたこうとするものでございます。この開栓手数料は、水道を今までやめておった人が再びこれを使いたいという場合に開栓の手続をするわけでございます。これは書類

の上と実際に職員が現場に行つてバルブ、その他のものを取り扱うわけでございます。そうしたものに課する手数料でございますが、これが今まで条例には定めがなかったわけでございます。この条例の中で、二十二条に規定する者から手数料を徴収するんだということに改正するわけでございますが、この二十二条と申しますのは、水道の利用者、所有者、代理人、総代人をさしていうものでございます。こうした人たちから開栓したいという手続があった場合には、七百五十円の手数料を取って開栓するんだ。このようなわけでございます。

大体、以上申し上げましたのが今回の料金改定等の内容でございます。

なお、このような改定をいたしまして、市の水道の財政事情はどうかということを簡単に御説明いたします。

現在、市の水道におきまして、先般四十九年度の決算が締め切られたわけでございますが、この段階におきまして、単年度におきまして四千七百八十三万円の収支の不足、いわゆる赤字が出ております。これを、前の年の繰り越されました利益の二百五十一万四千円を差し引きますと、五十年度に繰り越された累積赤字は四千五百三十一万六千円でございます。

五十年度におきまして、現在の時点におきまして現行の料金のままでこれを計算いたしますと、これの収支は、収益勘定でございますけれども、収入の面が一億八十九万一千円、これが支出におきましては二億二千九百四十二万一千円で、差し引き当年度末には一億二千八百五十三万円になるだろうということでございます。これを、前からの繰り越し赤字を含めますと、累積赤字は一

億七千三百八十四万六千円ということになろうというものでございます。

これを、先ほど申し上げました料金を改定いたしまして、これは年の中途からの収入に相なりますが、改定後の収支はどうなるかという申込みから申し上げますという、収入が一億六千四百九十九万円、支出が二億二千九百四十二万一千円で、収支の差、収入不足が六千四百四十三万一千円の赤字ということでございます。これを、先ほど申し上げました前の年からの繰り越しの赤字を含めますと、改定してもなお今年度末には一億九百七十四万七千円になるだろう。こういう見通しでございます。

大体、この料金改定によりましての財政の見通し、本年度について申し上げましたわけですが、なおこれが五十二年度末におきますという、現行でいった場合は累積をひくくめまして五億七千七十万六千円、改定を行なった料金で進んだ場合には、赤字が二億千四百九十九円このような結果で、なお赤字は大きな数値をもって残っていく。このような結果に相なっております。

以上が、料金改定のおもな概要でございますが、これらの詳細の水量計算あるいは料金計算等につきましては、お手もとに資料を差し上げてございますので、それらの資料によりまして御検討いただきたいと思います。

以上で、議案説明を終らせていただきます。

請願第一号 水道料金値上げをやめさせ給水状態を改善させる

ための請願書

(一五番議員辻田 実君登壇)

一五番(辻田 実君) 請願第一号水道料金値上げをやめさせ給

水状態を改善させるための請願書につきまして、紹介議員を代表いたしまして御説明を申し上げたいと思っております。

この請願につきましては御案内のように、千葉県職員労働組合安房支部長の小松光一君より提出されております。請願趣旨に明記されておりますように、館山市におきましては水道会計の赤字を理由といたしまして、水道料金を大幅に値上げさせようということでございます。

その内容につきましては、ただいま市長並びに水道課長のほうから提案されたわけでございますけれども、これらの内容につきましてはすでに館山市長の記者会見の中において値上げの内容が明らかにされ、さらには広報館山八月二十日号の水道特集号の中に おきまして、水道料金を大幅に値上げしたい旨の内容がすでに館山市民の間に伝えられているわけでございます。

これらの記者発表、さらに広報により館山市民の多くの人たちは、水道料金値上げについて見送っていただきたいという声が出ているわけでございます。特に、今日はインフレが非常に深刻化している中において、館山市におきましますところの中小企業、商店街の皆さま、さらには一人を越えるところの勤労所得者の生活は非常に苦しい立場に追いやられておるわけでございます。

こうした中において、水と空気、生活になくはならない、生活という、生きるためにはなくてはならないものでございます。広報館山にもこのように書いてございます。そして、空気はただであつても、水はただではないんだという、こういう説明が広報館山に書いてございますけれども、このように一日たりとも欠かすことのできない水の料金が、大幅に値上げされるということ

については、市民生活にとりまして非常に大きな打撃をわけでございます。

こうした状態の中にあつて、さらに水の給水状況は、御案内のように非常にわるうございます。特に、今年の七月から八月にかけてましての水の状況というのは目に余るものがあつたわけでございます。このことは、館山市においては数年前より続いておることでございますので、特に今年がわるかつたということじゃございません。しかし、今年の水事情は昨年、一昨年と比べてみますと、確かに去年より今年のほうが水が出なくなつてゐるという感じが事実でございます。

このように、館山市の水道が十分に給水されないという状況は市民生活にとって大きな痛手であることは申し上げるまでもございません。

特に、市営水道におきましては、館山市の六八%の普及率をもつておるわけでございますので、館山市民六八%がこの水道に依存してゐるといふ中において、この水道料金の問題さらには給水の状態というものは真剣に考へていただかなければならないことだといふふうに思ふわけでございます。そうした点が指摘されました、今回の請願になつてゐるものでございます。

そこで、請願事項の一項といたしまして、今回の水道料金の大幅な値上げを見送りたいといたしたいということ、さらにはこのように給水状態のわるい状況を改善していただきたいということが請願されておるわけでございます。

水道法並びに市の水道事業給水条例におきましては「給水は、非常災害並びに水道施設の損傷、公益上、その他やむを得ない事

情がある場合を除くほかは水を制限し、または停止することほできない」ということが明記されておるわけでございます。館山市におきまして、市営水道を直営してゐる中において、法律的にも水を供給する義務はあるわけでございます。その義務が十分果せないままに、特に広報館山におきましては、こうした問題が一行も書かれておらず、ただ苦しい水道経営、難問が山積してゐるところの水資源、財政問題という見出しにおいて、この水道事業のわるさ、さらには料金の問題については、赤字の問題についてはすべて受益者にその責任をかぶせるような報道がなされておるわけでございます。

また、広報館山に書いてありますような苦しい水道経営、このことについては経営者たるところの館山市の中にその根本的な問題があるはずでございます。この点が明確にされない中におきまして、ところの水道料金の値上げということについては、こうした請願が出てくることは当然なことだといふふうに考えるわけであり

ます。

こうした点において、この水道料金的大幅値上げをこうした状況等ふまえ、そして企業経営者並びに受益者の意見の一致をみる中において適正な値上げを行なうべきであると思ふわけでございます。まして、現時点においてはそうした状況になつていないように伺われるわけでございます。

さらに給水状況の改善については早急に行なつていただきたいということでございます。特に作名ダムの完成時点についてはこの状態は解消されるという方向が出ておりますけれども、五十二年度末にははたしてどういふ状態で改善されるのか。また、

五十二年までの間、二年間をどのように水事情を市民に対して法的にも供給しなければならぬところの企業責任者であるところの館山市はやっていくかということを明確にしていかなければならないというふうに思うわけでございます。

そうした点が、この請願書の中に明記されているわけでございまして、私も紹介議員といたしましては、このような意向を解しまして、この請願を採択していただきますことをお願い申し上げます。御説明にかえる次第でございます。

どうか、よろしくお願いいたします。

請願第二号 水道料金値上げをやめさせ給水状態を改善させる

ための請願書

(一八番議員渡辺軍治郎君登壇)

〇一八番(渡辺軍治郎君) 請願第二号について、ただいま一号では辻田議員から館山市の水道状況、そういう中での上上げ問題について説明がありました。二号も大体一号とその趣旨は内容的に一致しております。

ただ、つけ加えたいことは、市民の要望といいますが、現在の水の需給状態の悪化が非常に大きな問題になっております。ある人に聞きますと、夜起きて洗たくをして昼間寝なければいけないような生活様式にまで影響するような問題になっております。

そういう水の需給による悪化を改善しないで、水道料金の値上げだけをする。赤字財政を解消するということだけで値上げをするというのは、市民からとれば非常に大きな不満があります。したがって、どうしてもこの請願の中にある給水状態の悪化を改善するために、市が何らかの措置をしなければならないところ

に來ていると思いますが、そういうことについて市側からの言明はありません。

水道料金は、水道サービスの対価としてきめられるのが本筋だと思います。現在の水道のサービスが果して現在の水道料金に適応するかどうか。こういう問題について、深く皆さんの御検討をいただきたいと思ひます。

こういう状態の中から市民が請願運動を起こしまして、この請願第二号では千四十九名となっておりますが、その後本日百八名の人が追加の請願といたしまして、請願数は千百五十七名に達しております。これは館山市政の上で今までにない大きな住民の運動であると思ひます。

どうか、議員の皆さん方は、この市民の要望をぜひ受け入れて請願の採択に御協力をお願いしたいと思ひます。

〇議長(吉田勇治郎君) 以上で、私の請願第二号に対する説明を終らせていただきます。

休 会

〇議長(吉田勇治郎君) おはかりいたします。

議案調査のため、明八月二十七日は休会いたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

〇議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よって、明八月二十七日は休会することに決しました。

延 会 午前十一時五分延会

○議長（吉田勇治郎君） 本日の会議はこれにて延会いたしたいと思ひます。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

次会は、八月二十八日午前十時開会といたします。その議事は各議案の内容審議といたします。

○ 本日の会議に付した事件

一、会議録署名議員の指名

一、会期の決定

一、議案第五十五号乃至議案第五十八号、請願第一号及び請願第二号

